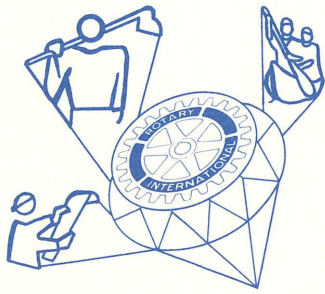


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 182 1990年6月29日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

ENJOY ROTARY!

**ロータリーを
楽しもう!**

本日の予定 1990年6月29日(第183回)

「退任の挨拶」

会長 佐藤 定宏 君

幹事 馬場 一廣 君

先週報告

1990年6月22日 第182回

卓話「クレジット・カードについて」

石澤 修氏

前 VISA JAPAN 協会事務局長

司 会: 佐藤 定宏 会長

♪ ロータリーソング: 「It's a small world」

「我等の生業」

ソングリーダー: 村上 満 君

ニコニコボックス紹介: 加藤 昌明 君

来客紹介: 岩瀬 秀郎 君

出席状況: 会員 56 名中 / 出席 35 名 / 欠席 21 名

来客 7 名 (都内 7 名) ゲスト 1 名

◎会長報告

(1) 財団アイメイト協会へ寄附した 150 万円について、盲導犬にエスコートされる盲人の方が決まりました。竹前さんという方で、7月6日に入校式を行うという連絡をいただきました。当クラブから関係の方がその式典に出席します。

(2) 当クラブが推薦した青野真希子さんが、正式に 1991-92 年度のロータリー財団奨学生の候補者に決定しました。

◎ソ連にロータリークラブ

6月5日ヒュー・アーチャー会長による認証状伝達式がモスクワで行われ、モスクワ RC が発足しました。会長にはソ連科学アカデミー会員で弁護士のアレキサンダー・ターナバスキー氏が就任。会員数は 25 名です。

◎慶事披露

お誕生日 6月24日 平井 逸夫 君
100% 出席 2年 芦部 政道 君

ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

平井 逸夫 誕生祝い有難うございます。
渡邊 治 昨日は次年度役員・委員長の集り盛大に終えることが出来ました。ありがとうございました。佐藤会長、きれいな写真沢山ありがとうございました。
高須 康有 昨日の打合せ会皆様おつかれ様でした。佐藤会長、写真ありがとうございます。
宮本 正祥 昨日の次年度スタッフ打合せ会大勢出席いただき有難うございました。
宮本 正祥 昨日(6/21)「次年度スタッフ打合せ会」の残金をニコニコへ入れさせて頂きます。
岩瀬 秀郎 佐藤会長、写真ありがとうございます。
山田 順則 佐藤さん夜間例会の写真をありがとうございました。
柴藤清三郎 勝山様ブライダルフェアでお世話になりました。
田中 武 娘がアメリカの高校を無事卒業しました。一家で卒業式に出席してきました。
鈴木 重徳 ワインの旅(サンフランシスコナパレー)でザルムさんにお世話になりました。
後藤 信夫 2週間程東欧へ行ってまいりました。
村上 満 ホームロータリーに永らく欠席しました。

6月18日 5件 ¥19,000

それぞれ、多額のご寄附を頂き有難うございました。

◎ビジター (敬称略)

小島榮太郎 / 東京日本橋 RC、尾関武男 / 東京中央 RC、須藤研一郎 / 東京新橋 RC、有田 弘、小宮山一、松尾治樹、中田尚文 / 東京南 RC

◎ゲスト

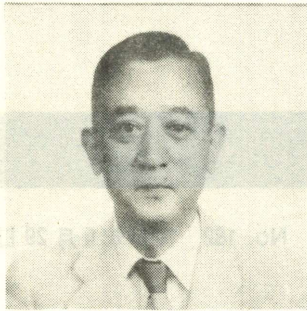
横山秀明氏 / 四分一会員ゲスト

◎副会長委員長の変更

4月27日発行 (No. 174) のクラブ会報で新年度の役員理事委員長をお知らせしましたが、その後河原勢自君が健康上の理由で辞退され、代わって、副会長とクラブ奉仕委員長に沖宏之君が就任しました。

退任御挨拶

会長 佐藤 定 宏



この1年間を振り返って見ますと、当クラブから田辺賢三氏を第275地区のガバナーとして輩出したというクラブにとって非常に名誉ある1年であり、田辺さんが超過重なスケジュールを立派にこなされて、ガバナーとしての任務

をまっとうされたことに敬意を表し、心から御祝いを申し上げます。

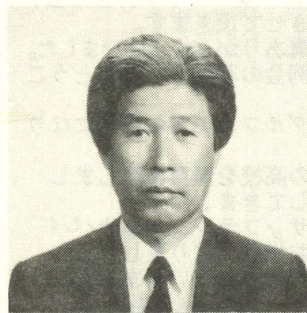
ガバナーを輩出したクラブとして、創立間もない会員数が50名そここの我がクラブが地区大会のホストを引受けることになりましたが、この大変な仕事を全員の誠意と努力に依って見事に為し遂げ、各方面から称讃の言葉を戴いたことは、会長としてこれに過ぎる喜びはありません。

また、我がクラブは、会員の増強と財務の確立を計らなければならなかった1年間でもありましたが、クラブ協議会を重ね、皆で討議を積んだ上、全員の理解と協力を得て、この方面に於いても目標を達成する成果を挙げられたことに對し、会員各位に對し敬意を表する次第です。

退任に当たり一言御礼を申し述べると共に、次の目標にむかって一体となり、更に躍進することを祈る次第です。

幹事任期終了への感謝

馬 場 一 廣



この6月末日を以て幹事の任期の1年が終了します。

この1年は早かったようでもあり、遅かったようでもあります。ロータリーで幹事の任期が1年とされていることはまことに妙を得ていると思います。つまり1年というの

は幹事の仕事にとって、もう疲れてきてやめたいと思う期間であり、とはいえ1年間だったら何とか頑張らなければいけないといった期間でもあります。

それにしても一般に退任のときには、大過なく仕事を終えることができまして、と挨拶されることがありますが、そんなとき挨拶している本人は内心まあうまくやれたと思っているのだと思います。私は今振り返ってみて、うまくやれたと思うどころか内心忸怩たる思いばかりであり、大過なく任期を迎えることができたなどという挨拶は出来ません。

唯、私が申し上げられることはクラブ会員の皆様の御協力と御寛容があったから任期終了の時を迎えることができるということです。

1年間の御協力と御寛容に感謝します。

ありがとうございました。

この1年

クラブ会報委員会

任期を終るにあたって、6月12日にクラブ会報委員が集り、杯をかわしながらわがロータリークラブを語りました。集まったのは、山下、武下、青野、宮澤、竹島、大日方の6名です。これはその一部をまとめたものです。

にぎやかな1年

(この1年、地区大会特集を3回出したり、会員増強と財政問題で特集を2回出したり、にぎやかな1年でした)

「財政問題では、折り悪しく、会報の予算を倍増して100万円にしたのですから、目立ちました。2, 3の人から会報は金を食いすぎる、月報でもよいではないか、4ページ号は余計だなどと言われました」

「それにしてもクラブ財政の問題は不思議でした。財政は今にも破綻する。それを避けるには会費の大幅な値上げか、例会場を変えたりピアノ演奏をテープにしたりという革命的な経費節減が必要だといわれました。それが突然、クラブ財政は心配ないということになりました」

「金がないのはなぜか。真剣な見直しをして、佐藤会長がいけそうだと判断されて、がらりと変わりました。」

「金が足りない、厳しいといわれると、経費を自己負担する人ができます。田辺ガバナーが4月のクラブ協議会に出席されて、支出の実体をつかまないと、予算の数値だけで危機感を持ったのではないかと指摘されていました。が、こんなことは今年限りにして欲しいですね」

全員参加の議論

(それにしても、会員増強とクラブ財政という問題で、全員参加の議論ができたのはよかったと思います)

「皆が心配して、あれだけのフリーディスカッションができたのはめずらしいことです。すばらしいと思いました。他クラブではなかなかできません」

「議論ができるのはすばらしい。ロータリークラブのような会は、なんとなく出来あがっていて、先輩は先輩、若い人は若い人でかたまる。そこで縦に風を通すような青くさい議論などなかなかできません」

「なんにもいわなくても、誰かがやってくれると思うから、また言う責任を負うことになりかねないから、積極的な発言や批判的な発言はしないものです」

「ところで会報委員長が例会場で速記をとっているのは驚きました。次期の会報委員長で自身満々、ねあかの山田さんも、速記で卓話をまとめるのはギブアップしました。7月から卓話は翌々週の週報に載せるといっています」

「速記ではなくて、下手な走り書きをしているだけです。テープから復元すると、1日がかりの仕事になるので、やむをえない苦肉の策です。例会場で見苦しいところを見せて申しわけないと思っていました。それにしても短時間で原稿をまとめるので、むずかしいことがあります。引継ぎのとき、前委員長の吉田さんから人の原稿は直さない方がいいと言われましたが、余白ができると困るので、長めに書いていただいて、あふれたときは一部カットさせてもら

いました。前置きを削ったり、あと書きや冗長なところを切ったりしました。無断でずい分乱暴なことをしました」

新年度に期待

（ところで、現会長の佐藤さんと新会長の渡邊さん、お二人は対症的です）

「全く感じが違いますね。正反対といってもいいでしょう。佐藤会長は、なにもおっしゃらない。各委員長が自発的に活動してくれると信じていました」

「何もいわれないと最初はとまどいますが、期待に反しないように一生懸命やらなければという気持になります。あまり指図されると嫌ですね。指図されたことだけやっていればいいという気持になります」

「佐藤会長が司会役とすれば、新年度の渡邊会長は指揮者でしょう。指揮棒を持って、すみずみまで指揮を徹底し、統制のとれたクラブ運営をしようとしておられます」

「渡邊会長が入会されたとき、こんなすばらしい会にはいて嬉しい、私の残りの人生はこのすばらしい会の活動にかけたいという感想をいわれました。それを聞いて、これは大変な方だとおそれを感じました。私などはちゃらんぼらんな気持ではっていますから」

「新幹事の宮本さんの間違いだらけの人事で、なるはずのない人に、なるはずのない役割りがまわってきました。それで先日も、渡邊新会長に小学校の生徒並のお説教をされてしまいました」

「私は音楽が好きなので、生演奏を楽しみに例会に来ています。音楽がテープにならなくてよかった」

大正と昭和

（いろいろな機会に年齢による考え方の違い、大正、昭和1けた、2けたの世代間ギャップを感じました）

「火曜会でも、今日は昭和2けたの人だけだから、気軽にクラブ批判ができるなどという発言がとび出します」

「クラブ全体を見ると、田辺さんは重役、私たちは平社員という、その位の違いがあります。まあ、大正生まれは、全員このクラブの重役ですよ。われわれは鼻たれ小僧だから、重役をたてなければという気持になります」

「田辺ガバナーは企業の延長のような組織づくりをしてこられた。その意向を受けた渡邊会長ですから、次の1年は身を引き締めて、きちっとしなければなりません」

「人のことをいちいち気にしていたら人生はつまらない。あなたはあなた、私は私、私は自分中心だからロータリークラブにはあわないのかもしれませんが。間違えて入会してしまったという気もします」

「若い人にもっと頑張ってもらわなければ世の中の感覚とずれてしまいます。ロータリーというのは、なんか金持ちの変なおじさんたちが変なことをやっていると思われるだけです。社会奉仕にしても、若い人の感覚をつかまなければ受け入れられません」

「ガバナーが偉いと思うのはロータリアンだけで、ロータリーの中だけの価値がどんどんできてくる。それなりの

ことはやっても、それはロータリーの中だけしか通用しない。それを社会に通用する価値だと思うのは困ります」

各人のロータリー

「私は例会に出て、帰りは階段を昇るところでバッチをはずすことにしています。ロータリーがすべてではないという私の意志表示です」

「例会には嫌だけど出るということもあります。親しい人がいると気が安まります。新しい友人ができるかもしれないという思いもあります。例会はそういう場所です」

「心の触れあいがなければ続きません。だから親睦が大切です。社会奉仕は金を出すだけでなく体も動かせ。ほうきで世の中を清めるということになったらたまりません」

「先日他クラブにメイクアップしたら、休会日にあたっていて出席証だけもらいました。そしたら、運がよかった、ついていると言う人がいます」

「休会日ばかりねらってメイクアップする人がいるといえます。4~5,000円の例会費と例会の時間を節約できて100%出席を維持できるというのです。どうしてそんなことまでして100%出席にこだわるのでしょうか」

「分り過ぎた人たちの中にそういう人がいます。でもそれにいちいち目くじらを立てていてもつまみません。自分が納得して行動する。それで楽しければいい」

（武下さんはメイクアップをしないと聞いています）

「メイクアップなしで、1年間ホームクラブに100%出席しました。来年も、できればその次もホームクラブだけで100%出席をしたいと思っています」

「私はこれまで3分の1近くメイクアップでしたがこの1年は会報のためにほとんどホームクラブに出席しました。しかし仕事のやりくりがむずかしくて困りました」

時間という価値

（例会のスピーチは、時間を守って欲しいですね）

「卓話のときの卓話者を紹介するスピーチが長くてびっくりすることがあります。卓話者の時間にどんどん食い込んで卓話者の話が短くなるのが残念です」

「先日のクラブ協議会も時間切れでした。年度のはじめのクラブ協議会もそうでしたから、またかと思いました。司会の馬場幹事が気の毒でした」

「結局、終りの方の委員長が何人か取り残されました」

「王様にとってもこじきにとっても、24時間は、平等に24時間です。時間を平等にという感覚を持てなくては、上下の関係がないロータリーの活動はできません」

「優秀な若い人が沢山はいつてきているので、古い人はどこで手を引くか考えなくてははいけません。古い人がいろいろやると迷惑でしょう。やりすぎると迷惑というのは沢山あります。それを古い人たちにわかってもらいたい」

（これで終りにしたいと思います。1年間、自由に楽しく、きつい仕事をさせていただきました。それを信頼して支援して下さった佐藤会長、馬場幹事、ありがとうございました）（まとめ 大日方）

「天は二物を与えるか」

山下 忠 治

例会で歌う「It's a small world」は心が燃える素晴らしい曲である。この曲を歌うと自ずと私の目は潤んでくる。私はこの曲を歌いたいために例会に出席しているようなものだ。出席の理由がそんな程度だから、私にはロータリアンとしての自覚が不足していることは確かである。

しかし、ロータリアンであることに誇りを持ち、欣びを感じている人たちは多い。だからこそ与えられたクラブの任務を情熱をもって遂行できるのであろう。本年度の週報担当の大日方さんもその一人とお見受けした。例会場で大日方さんがペンを走らせている姿を見て、その速記術には只々驚くばかりである。多忙な人ほど時間の使い方がうまい。時間の尊さを知っているからだ。週報の原稿はその場で書き上げるべしというコンセプトはそこにある。困難だが一番効率的なことをこの一年間実行し、やり終えた。敬服するとともにご苦労様でしたと申し上げたい。

ところで、その大日方さんはビロードのような艶やかな声の持ち主である。もし大日方さんがヴェルディのオペラ「リゴレット」の中の名アリア「女心の歌」を唄えば、本人も仰天するほどの、そしてルチャーノ・パヴァロッティもシャッポを脱ぐほどの美声が出るにちがいない。ここに一夜にして名テノール歌手誕生ということになるはずだが、ご当人はちっともそれに気付いていない。

また、先日の地区大会で披露された彼の絵画は素人どころか玄人（クロウト）の域をも超えていて、オークションにかければ一財を成すことは明らかである。「天は二物を与えず」とは、誰れがこんなデタラメを言ったのか、不公平なことである。

私はこの夏、北イタリアのヴェルディの「レクイエム」を歌う。ロリン・マゼール指揮のもと、モスクワ・フィルハーモニーのオケ伴で世界中から集まる5千人の合唱団の中で歌うのだ。私の持ち前のチャレンジ精神と好奇心のみが優先して全く思いがけないことになったが、モーツァルトやフォーレの「レクイエム」と並び称せられるこの名曲をヴェローナの野外劇場で歌うということは、私のせいぜい100年ほどの短い人生の中で正にエポック・メイキングな事件である。人間、生あれば死あり。いずれ我が身にも訪れるであろう死に対する自分へのレクイエムでもある。そこで願わくは大日方さんほどの美声を我れに与え給えと祈ってみれば、神は私の願いを聞き届けてくれるだろうか？「It's a small world」の一節ではないが「…明るい希望忘れずに」奇跡を静かに待つ今日この頃の私である。

（山下忠治君は、本年度のクラブ会報副委員長です。大日方委員長を含む6名の委員は、本日で任務を終ります）

1990年6月22日卓話 『クレジットカードについて』

石 澤 修氏（前VISA JAPAN協会事務局長）

カードは今世紀はじめに、ガソリンスタンドや百貨店のカードとしてスタートした。戦後、ダイナースクラブとアメリカンエクスプレスが、徐々にネットワークを作り、また、バンクオブアメリカが銀行の商品として銀行カードをスタートさせた。銀行は、カードを保有する会員と加盟店の両方に取引があるので、銀行の参入によってカードは急速に普及していった。日本のカードは、30年前のダイナースクラブが最初である。住友や富士が中心になって銀行系のカードを作ってきた。

日本の消費支出は、220～230兆円といわれるが、現在その5%がカードで決済されている（アメリカやカナダでは20%）。VISA、マスターカード、アメックス、ダイナースなどの国際カードの会員数は4億、日本では、百貨店などのカードを含めたカードの発行枚数は1億3千万枚である。89年11月現在で、消費者の54%がカードを保有しており、カードを持っていて使用しないスリーパーは約10%である。日本人の海外での支払い、19%がカードで行われている。1人で何枚もカードを持つようになると、カード会社は会員サービスを競うことになり、いろいろなサービス競争が行われている。銀行系のカード会社では、2年以内に延べ払いを実現させることになっている。

カードは、世界のどこで使われても、必ず請求がまわってくる。それは国際的なコンピュータのネットワークが完備しているからである。（まとめ 大日方）

1990年6月臨時理事会議事録

日 時 6月22日(金) 例会前 11:45～12:10

場 所 東京全日空ホテル 地階 八雲の間

出席者 佐藤、川鍋、田中、渡邊、吉田、山田、平井、馬場

決 議 事 項

1. 新会員候補者推薦受付の件

新会員候補者2名の推薦受付を承認。

2. 退会希望の件

飛島 章君（職業分類「都市開発」）

一身上の都合により、同君の退会を6月30日付けで承認。

◎次回予定 1990年7月6日(金) (第184回)

新 年 度 初 例 会

「就 任 の ご 挨拶」 会長 渡 邊 治 君
幹事 宮 本 正 祥 君

受付会計／四分一・永井 来客紹介／青野

入口会場／芦谷・後藤 ニコニコボックス／保科

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願います。

東京新南ロータリークラブ 会長＝佐藤 定宏 副会長＝川鍋 達朗 幹事＝馬場 一廣 会報＝大日方 真
事務所 〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004
例会日 金曜日 12時30分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL. 03-505-1111